

2023年度 環境助成金プログラムの申請について ※2023年4月6日更新

本年度第1回目の環境助成金プログラムの申請締め切りは、2023年8月31日締切を予定しています。追加の募集については現在未定となります。最新の募集案内は本ページにて更新いたします。

お探しの情報ございましたら、[よくあるご質問](#)ページをご利用ください。

その他のお問合せはパタゴニア日本支社の助成金プログラム窓口 (grants.japan@patagonia.com) までご連絡ください。

申請のためのガイドライン

パタゴニアは環境保護活動にのみ助成を行います。私たちが支援するグループは、問題の根本的な原因を見極め、働きかけ、そして長期的な視点で問題解決のアプローチを行なっているグループです。真の問題解決は力強い草の根活動を通じてのみ実現しうると信じており、私たちの助成金は市民のサポートによる強い基盤を創りだしているグループにフォーカスしています。

私たちは、直接行動する課題を持った、草の根で活動する小規模なグループや、自然環境を保護／回復させようとする複数のキャンペーンに取り組んでいるようなグループを支援しています。また、地域に残る生物の生息域を守ろうとする地域社会に根ざしたグループを支援しており、森の中にある1本の木、河川の支流、あるいは絶滅の危機にある野生生物の保護のための個々の戦いが、さらに複雑な問題、特に生物多様性と生態系の保護についての問題を多くの人々に提起するうえで最も効果的な活動であると考えています。測定可能な結果を出そうとしている革新的なグループや、自治体や中央政府に対して自らの法律、つまり私たちの法律を遵守するよう働きかけるグループを支援しています。

パタゴニアは株式を公開しておりませんので、株主に縛られることなく、通常の間からは多少外れているグループも支援することができます。また、私たちはそのような小さなグループを支援していくことが最も効果的だと信じています。

なお、パタゴニア日本支社の助成金は、社会変革の促進とポジティブなインパクトの拡大をミッションとする米国の非営利組織を通じて実施されることとなります。

私たちは以下のようなグループに助成します

多様性、公平性、かつ包括性のある環境ムーブメントを構築している

環境政策やアウトドアにおける体系的な偏見、差別、不公正に立ち向かうもの

行動志向であること

計測可能であること

市民を巻き込み、支持を得ている

ターゲットと目標において戦略的に活動している

問題の根本的原因に焦点を当てている

成功が効果的に測定できる特定のゴールと目標を達成している

パタゴニアがビジネスを展開している国のうち、以下の国内を拠点に活動しているグループ：アメリカ、カナダ、日本、韓国、オーストラリア、チリ、アルゼンチン、イギリス、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ノルウェー、ルクセンブルク、イタリア、アイルランド、ドイツ、フランス、デンマーク、ベルギー、オーストリア、チェコ共和国

私たちは以下のようなグループには助成していません

民族、人種、宗教、肌の色、性的指向、性別、性同一性、年齢、出身国、家系、市民権、退役軍人や障害者の地位に基づく偏見や差別を助長している組織

トレイルの建設またはメンテナンス、修復

ダムの変更または人間の介入による魚道の整備、孵化場プログラム

土地の購入または土地トラスト

科学的な研究（ただし、環境問題を解決しようとする特定の行動を直接支援する調査は除く）

環境教育のみを目的としたプロジェクト

環境に関する会議、イベントのスポンサー、映画祭

寄付基金

特定の候補者を支援する政治的キャンペーン

環境配慮型建築に関連する取り組み

自転車の啓発。プロジェクトが気候変動の解決策を直接サポートしていない限り。

上記に加えて、国際助成については以下の条件を満たす必要があります。

- プロジェクトベースの申請であること ※通常の管理運営経費に対する助成は対象外となります。
- プロパガンダや特定の法律制定に影響を及ぼすことを意図したロビー活動の実施を目的とするプロジェクトではないこと
- アメリカ合衆国以外で実施されるプロジェクトであること

申請手続き

1団体からの申請受付は1年（毎年5月～翌年4月）に1回のみとなります。助成金額は多くの場合は50万円から200万円までの範囲となりますが、申請内容によってはこの範囲を超えて助成する場合があります。

- 年2回申請の締め切りを設けています。場合により追加募集を行います
4月30日
8月31日
- 申請は、オンライン申請（CyberGrants／日本語）のみとなります。郵送、メールによる申請は受け付けていません。
- 助成審査結果通知は締め切り後およそ60日、助成金の振込時期は締め切り後およそ120日を予定しています。

必要事項と書類

はじめてオンライン申請をするグループは、事前の組織登録が必要になります。詳しくは下部の「申請から助成までの流れ」をご覧ください。

申請概要の入力

申請年度の貴団体全体の年間運営予算額、助成希望額をアメリカドル換算で入力していただきます。為替レートの計算のためのサイトを入力ページにて紹介しています。

アップロードが必要な書類

- NPO法人等の法人格を有している場合はその認定証、法人格を有していない場合は非営利性を証明する書面（直近の決算報告書等、及び定款）
- NPO法人等の現在の理事のリストを示す書面
- 申請書本文（申請ページ内に指定フォーマットあり）

- ミッションステートメント／グループの設立目的
- 活動の中長期目標（3年～5年）
- 上記目標を達成するための道筋（戦略）
- 申請プロジェクトが「戦略」の中で果たす役割
- 短期目標（プロジェクトを実施し、1年後に達成したい外部環境の状態）
- 上記の状態をつくるために必要なアクションとその結果を示す数値的な指標
- 申請プロジェクト詳細（プロジェクト名／期間／プロジェクト予算額、パタゴニア助成金申請額／プロジェクト要約／取り組む課題とその背景、原因／環境保護における意義／問題解決における主要な利害関係者/この問題を解決できる決定権をもつターゲット、ターゲットを動かすことができる人）
- 過去の主な活動内容とその成果
- 自由記述（写真、図やグラフなど）
- 組織運営上の課題
- 参考リンク

新しいプロジェクトを計画する際や、現在行っているプロジェクトを新たな段階に進める際の参考として「[キャンペーン戦略](#)」についてお読みください。

より詳しくお知りになりたい方は「[草の根活動家のためのパタゴニアのツール会議](#)」も合わせてお読みください。

■ 予算概要： グループ全体

- 自由書式

■ 予算概要： 申請プロジェクト単独

- [パタゴニア助成金会計報告書フォーム](#)をダウンロードし、申請時に必要な項目を記入の上、アップロードしてください。必要な項目はサイト内手引きでご覧いただけます。

助成手続き

パタゴニア日本支社の助成金審査委員会で助成が内定したグループについては、国際助成を通じた送金手続きを進めるにあたって追加の書類提出が必要となります。

報告義務

助成先にはパタゴニア日本支社に従った報告義務があります。

過去に申請したプロジェクトがある場合は、そのプロジェクトの短期的（1年）目標の達成度合いを審査の参考にすることがあります。

- パタゴニア助成金会計報告書
- パタゴニア助成金活動報告書

申請から助成までの流れ

1. 申請ページにて、皆様の取り組みがパタゴニアのガイドラインに沿っているか確認するために、適格かどうかを診断する質問にお答えください。
 2. グループ新規登録、または組織情報に変更があった場合は修正登録
 3. 申請書作成と提出
 4. パタゴニアより審査結果通知（各申請締め切り日からおよそ 60 日）
 5. 助成金送金のための申請と必要書類を提出
 6. 審査結果のレター送付をもって助成実施（助成対象期間は助成金契約に記載。プロジェクト開始は送金後）
 7. パタゴニア日本支社に従った最終報告
- ※ 助成金審査委員会で助成が内定したグループには、「助成までの流れ」についての詳細を直接メール送付にてご案内します。

申請する

※ [プライバシーポリシー](#)と[利用規約](#)を読み、同意の上、申請をお願いします。

よくあるご質問

パタゴニアの助成金プログラム担当、または CyberGrants のサポートにお問い合わせいただく前に「[よくあるご質問](#)」をお読みください。ご質問にすぐにお答えできるか、適切なお問い合わせ先をご確認いただけます。

追加情報

CyberGrants と申請手続きについてのテクニカル・サポートについてはサポートチーム cgsupport@cybergrants.com までご連絡ください。

よくあるご質問にリストされていない CyberGrants あるいは申請手続きに関連しない質問については、パタゴニア日本支社の助成金プログラム窓口 (grants.japan@patagonia.com) までご連絡ください。

プログラムのガイドラインはつねに更新されますので、新たに申請される際にはガイドラインをチェックするようお勧めします。